

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
<b>Q 建築物の環境品質</b>								<b>3.5</b>
<b>Q1 室内環境</b>			<b>0.40</b>					<b>3.9</b>
<b>1 音環境</b>		<b>3.0</b>	0.15	<b>3.7</b>	1.00			<b>3.5</b>
1.1 騒音		3.0	0.50	3.0	0.50			
1.2 遮音		<b>3.0</b>	0.50	<b>4.4</b>	0.50			
1 開口部遮音性能	T-2のサッシュ	3.0	1.00	5.0	0.30			
2 界壁遮音性能	Dr-55以上	3.0	-	5.0	0.30			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)	Lr-45以上	3.0	-	4.0	0.20			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0	0.20			
1.3 吸音		3.0	-	3.0	-			
<b>2 温熱環境</b>		<b>2.0</b>	0.35	<b>5.0</b>	1.00			<b>4.4</b>
2.1 室温制御		<b>3.0</b>	0.50	<b>5.0</b>	1.00			
1 室温		3.0	0.63	-	-			
2 外皮性能	日本住宅性能表示基準「5-1断熱等性能等級」における等級4	3.0	0.38	5.0	1.00			
3 ゾーン別制御性		3.0	-	-	-			
2.2 湿度制御		<b>1.0</b>	0.20	-	-			
2.3 空調方式		<b>1.0</b>	0.30	-	-			
<b>3 光・視環境</b>		<b>3.3</b>	0.25	<b>4.0</b>	1.00			<b>3.8</b>
3.1 昼光利用		<b>4.2</b>	0.30	<b>4.0</b>	0.50			
1 昼光率	共用部の昼光率が2.5%以上、住居部の昼光率が2.0%以上	5.0	0.60	5.0	0.50			
2 方位別開口		3.0	-	3.0	0.30			
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.20			
3.2 グレア対策		<b>3.0</b>	0.30	<b>4.0</b>	0.50			
1 昼光制御	全周バルコニーによる庇効果およびカーテンによる制御	3.0	1.00	4.0	1.00			
3.3 照度		<b>3.0</b>	0.15	-	-			
3.4 照明制御		<b>3.0</b>	0.25	-	-			
<b>4 空気質環境</b>		<b>3.6</b>	0.25	<b>3.6</b>	1.00			<b>3.6</b>
4.1 発生源対策		<b>4.0</b>	0.60	<b>4.0</b>	0.63			
1 化学汚染物質	F☆☆☆☆をほぼ全面的に採用	4.0	1.00	4.0	1.00			
2 アスベスト対策		3.0	-	-	-			
4.2 換気		<b>3.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	0.38			
1 換気量		3.0	0.50	3.0	0.33			
2 自然換気性能		3.0	-	3.0	0.33			
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	0.33			
4.3 運用管理		3.0	-	-	-			
1 CO <sub>2</sub> の監視		3.0	-	-	-			
2 喫煙の制御		3.0	-	-	-			
<b>Q2 サービス性能</b>		-	<b>0.30</b>	-	-			<b>3.7</b>
<b>1 機能性</b>		<b>3.6</b>	0.40	<b>4.2</b>	1.00			<b>4.0</b>
1.1 機能性・使いやすさ		<b>3.0</b>	0.40	<b>5.0</b>	0.60			
1 広さ・収納性		3.0	-	3.0	-			
2 高度情報通信設備対応	1Gbitのブロードバンドが利用可能	3.0	-	5.0	1.00			
3 バリアフリー計画		3.0	1.00	-	-			
1.2 心理性・快適性		<b>5.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	0.40			
1 広さ感・景観		3.0	-	3.0	0.50			
2 リフレッシュスペース		3.0	-	-	-			
3 内装計画	共用部では照明計画と内装計画の一体化、パースによる事前検証	5.0	1.00	3.0	0.50			
1.3 維持管理		<b>3.0</b>	0.30	-	-			
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50	-	-			
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-			
3 衛生管理業務		3.0	-	-	-			
<b>2 耐用性・信頼性</b>		<b>3.4</b>	0.30	-	-			<b>3.4</b>
2.1 耐震・免震		<b>3.4</b>	0.50	-	-			
1 耐震性		3.0	0.80	-	-			
2 免震・制振性能	免震構造の採用	5.0	0.20	-	-			
2.2 部品・部材の耐用年数		<b>3.8</b>	0.30	-	-			
1 躯体材料の耐用年数	劣化対策等級3	5.0	0.20	-	-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20	-	-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10	-	-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水管に塩ビライン鋼管、汚水排水管、雑排水に硬質塩化ビニル管の判断基準Bの材料を使用し、判断基準Eの材料は不使用	5.0	0.20	-	-			
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-			

2.4	信頼性		3.0	0.20	-	-	
	1	空調・換気設備	3.0	0.20	-	-	
	2	給排水・衛生設備	3.0	0.20	-	-	
	3	電気設備	3.0	0.20	-	-	
	4	機械・配管支持方法	3.0	0.20	-	-	
	5	通信・情報設備	3.0	0.20	-	-	
3	対応性・更新性		3.0	0.30	3.8	1.00	3.6
3.1	空間のゆとり				4.6	0.50	
	1	階高のゆとり	階高 基準階 3.3m	3.0	-	5.0	0.60
	2	空間の形状・自由さ	住宅 壁長さ比率0.1以上0.3未満である	3.0	-	4.0	0.40
3.2	荷重のゆとり		3.0	-	3.0	0.50	
3.3	設備の更新性		3.0	1.00	-	-	
	1	空調配管の更新性		2.0	0.20	-	-
	2	給排水管の更新性	構造部材を傷めることなく修繕、更新できる	4.0	0.20	-	-
	3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-
	4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-
	5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-
	6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-
Q3	室外環境(敷地内)		-	0.30	-	-	2.7
1	生物環境の保全と創出		2.0	0.30	-	-	2.0
2	まちなみ・景観への配慮		3.0	0.40	-	-	3.0
3	地域性・アメニティへの配慮		3.0	0.30	-	-	3.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	
LR	建築物の環境負荷低減性		-	-	-	-	3.7
LR1	エネルギー		-	0.40	-	-	4.2
1	建物外皮の熱負荷抑制	日本住宅性能表示基準「5-1断熱等性能等級」における等級4	5.0	0.20	-	-	5.0
2	自然エネルギー利用		3.0	0.10	-	-	3.0
3	設備システムの高効率化	BEI 非住宅 - 住宅(専有部) 0.94	4.6	0.50	-	-	4.6
	集合住宅以外の評価(3a,3b)		4.6	-	-	-	
	集合住宅の評価(3c)	LED照明の採用	4.6	1.00	-	-	
4	効率的運用		3.0	0.20	-	-	3.0
	集合住宅以外の評価		-	-	-	-	
	4.1	モニタリング	3.0	-	-	-	
	4.2	運用管理体制	3.0	-	-	-	
	集合住宅の評価		3.0	1.00	-	-	
	4.1	モニタリング	3.0	0.50	-	-	
	4.2	運用管理体制	3.0	0.50	-	-	
LR2	資源・マテリアル		-	0.30	-	-	3.5
1	水資源保護		3.4	0.20	-	-	3.4
1.1	節水	節水便器	4.0	0.40	-	-	
1.2	雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	
	1	雨水利用システム導入の有無	3.0	1.00	-	-	
	2	雑排水等利用システム導入の有無	-	-	-	-	
2	非再生性資源の使用量削減		3.3	0.60	-	-	3.3
2.1	材料使用量の削減		3.0	0.10	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20	-	-	
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	パーテックボード(二重床)、ビニル系床材(外部廊下)	4.0	0.20	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.10	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	躯体と仕上げ材が容易に分別可能	4.0	0.20	-	-	
3	汚染物質含有材料の使用回避		4.3	0.20	-	-	4.3
3.1	有害物質を含まない材料の使用	指定化学物質を含有しない建材が4つ	5.0	0.30	-	-	
3.2	フロン・ハロンの回避		4.0	0.70	-	-	
	1	消火剤	-	-	-	-	
	2	発泡剤(断熱材等)	A種(ノンフロン)断熱材	5.0	0.50	-	-
	3	冷媒	3.0	0.50	-	-	
LR3	敷地外環境		-	0.30	-	-	3.3
1	地球温暖化への配慮	ライフサイクルCO2排出率が参照値に対して77%	3.9	0.33	-	-	3.9
2	地域環境への配慮		3.0	0.33	-	-	3.0
2.1	大気汚染防止		3.0	0.25	-	-	
2.2	温熱環境悪化の改善		3.0	0.50	-	-	
2.3	地域インフラへの負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
	1	雨水排水負荷低減	3.0	0.25	-	-	
	2	汚水処理負荷抑制	3.0	0.25	-	-	
	3	交通負荷抑制	3.0	0.25	-	-	
	4	廃棄物処理負荷抑制	3.0	0.25	-	-	
3	周辺環境への配慮		3.2	0.33	-	-	3.2
3.1	騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	
	1	騒音	3.0	1.00	-	-	
	2	振動	-	-	-	-	
	3	悪臭	-	-	-	-	
3.2	風害、砂塵、日照障害の抑制		3.0	0.40	-	-	
	1	風害の抑制	3.0	0.70	-	-	
	2	砂塵の抑制	3.0	-	-	-	
	3	日照障害の抑制	3.0	0.30	-	-	
3.3	光害の抑制		4.4	0.20	-	-	
	1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	光害対策ガイドラインの過半を満たし、広告照明が無い	5.0	0.70	-	-
	2	屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策	3.0	0.30	-	-	